

テキストファイル通信

サンプルプログラムを使用した通信例

2009/05

株式会社スカイロジック

目次

1 : 概要.....	2
2 : 手順.....	3
2-1 : ファイルの作成.....	3
2-2 : EasyInspector の設定	3
2-3 : サンプルプログラムの設定と通信テスト.....	4

1 : 概要

本書はサンプルプログラムを使用して **EasyInspector** とテキストファイルによる通信を行う方法について説明しています。

2 : 手順

2-1 : ファイルの作成

テキストファイルによる通信には、サンプルソフト→EasyInspector 方向の命令（コマンド）を読み書きするファイルと EasyInspector→サンプルソフト 方向の応答（レスポンス）を読み書きするためのファイルの 2 つが必要となります。

例として「ドキュメント」フォルダに

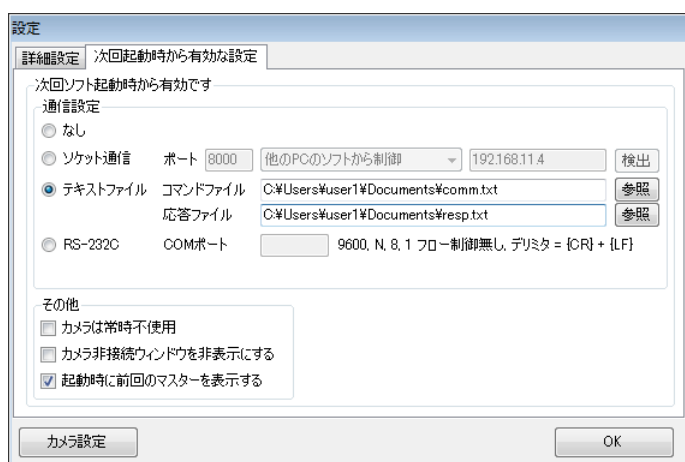
comm.txt (EasyInspector への命令用)

resp.txt (EasyInspector からの応答用)

を作成します。「メモ帳」を新規に開き、何も編集せずに「ファイル」→「名前を付けて保存」を選択します。それぞれ上記の名前で保存してください。

2-2 : EasyInspector の設定

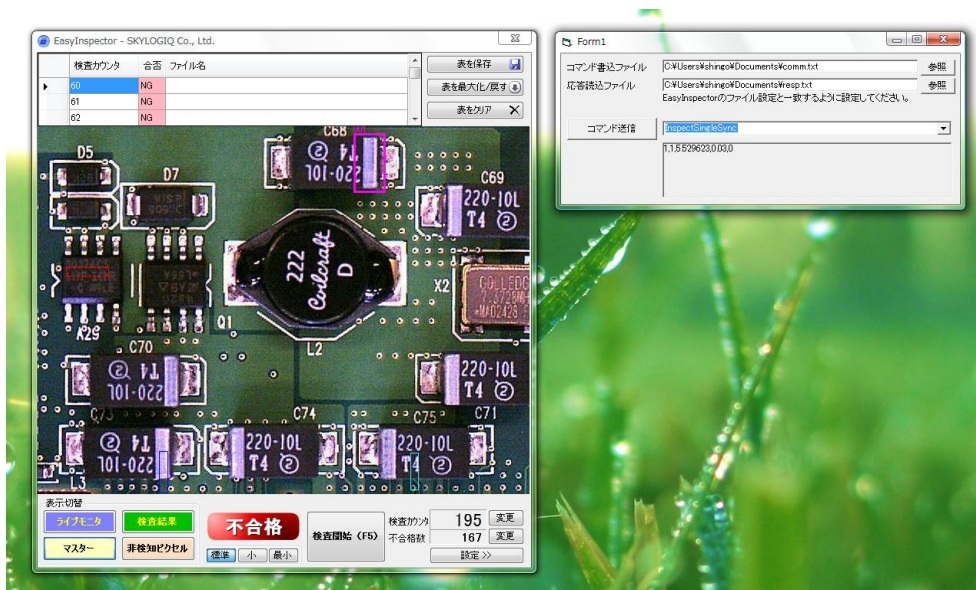
- ▶ EasyInspector を起動します。
- ▶ 「設定>>」ボタンをクリックして、さらに「詳細設定」ボタンをクリックします。
- ▶ 設定ウィンドウの「次回起動時から有効な設定」タブをクリックします。
- ▶ 「通信設定」から「テキストファイル」を選択します。



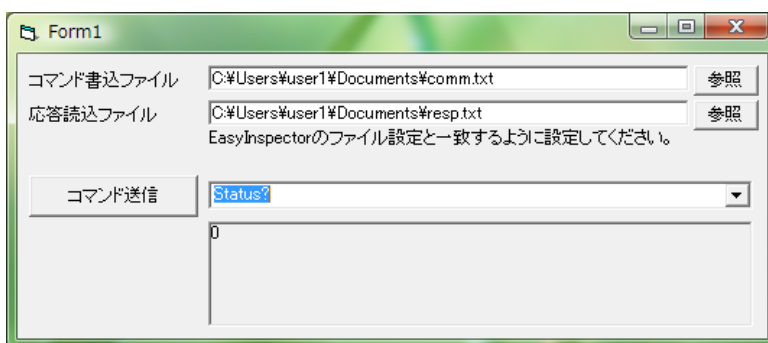
- ▶ 「コマンドファイル」「応答ファイル」それぞれについて「参照」ボタンをクリックし、先ほど保存しておいた comm.txt および resp.txt を指定します。
- ▶ OK をクリックします。
- ▶ EasyInspector をいったん終了し、再立ち上げします。

2-3 : サンプルプログラムの設定と通信テスト

- ▶ サンプルプログラム TFC.exe を実行します。



- ▶ 「参照」 ボタンをクリックして先程コマンドファイル用と応答ファイル用にそれぞれ作成したファイルを指定します。



- ▶ 「コマンド送信」 ボタンをクリックして下のボックスに 0 が入れば通信成功です。
- ▶ その他コマンドがプルダウンボックスに用意されていますのでそれらもお試しい。

